



みなみっ子

41号

令和7年12月25日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標

〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

学校便りについて

12月25日(金)で2学期終業です。4月から、今日まで学校の様子や様々な情報提供を学校便りでお伝えしています。内容によっては多少難しい内容もあるとは思いますが、私の学校経営方針や、今の学校での学びや、これからの学校教育の方向性、または身近な学習素材についてなどを示すようにしています。

学校便りの発行は多くの学校では月1回程度ではありますが、学校の様子などを知っていただきたいので、発行は不定期とし、今回で41号を数えます。現在学校ホームページでは、過去の学校便りの全てを見ることができない状態になっているので、全てが見ることができるようにな南城市教育委員会と相談をしています。令和8年1月からも積極的に発信していきますのでご愛読お願いします。

2学期終業式での校長先生の話の内容から

本日の2学期終業式では、2学期の始業式で話したこと、そして1学期の始業式で話したことがしっかりできているかを投げかけました。

2学期の始業式：自分の目標をもって挑戦すること

1学期の始業式：自分を大切にすること



終業式

勉強をすることも、スポーツをすることも、読書をすることも、そして、早寝早起き朝ごはんも、危険な遊びをしないことも全て、自分を大切にすること。

周りの人を大切にすること

優しい言葉遣い、廊下を走らないことなど周りの人のことをちゃんと考えているか。

今後の学校教育で大切にすること

これからの社会は予測が困難だといわれています。技術の進歩もとても速く、今の常識が明日には変わっていることもあり得ます。このような今、学校教育はこれまでのようなあり方が問われています。「予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる」その様な教育が求められています。

予測困難な社会では

- ①予測できない事態に対応せざるを得ないほとんどの場合「正解がない」「経験がない」
- ②課題は複雑に絡み合い、ひとりでは到底解決できない多様な他者と協働して納得解を作り出す
- ③より積極的に未来に関与する必要がある未来を見据え、人間の価値や強みを生かす

上記のような社会を見据え、より良い学校教育を通じて、体験的に学び取ることをこれまで以上大切にしていくなことが必要になります。そのためにも私たち教職員は常に学び続ける集団でありたいと思います。保護者の皆様も一緒に学び続ける関係性を作っていきませんか？

総合的な学習の時間について

保護者の皆様の中には、総合的な学習の時間ってどんな学習ってなんだろうと思われる方々もいらっしゃると思います。平成10年に小学校3年生から高校まで創設された、教科などの枠を超えて問題解決的な活動を発展的に繰り返していく学習です。答えのない問いに対し探究的な学習をしていく時間です。

探究をしていくためにも身近な学習素材であることが大切であり、地元のことを取り上げることが多くなります。そのことによって自分自身が住んでいる地域に改めて興味関心を持つきっかけにもなります。

このような総合的な学習の時間は単なる調べ学習とは異なり、地域の方々と関わったり、地域に出かけるフィールドワークをしたりします。そのような学習過程を経て、子どもたちは近年言われる「シビックプライド」を培うのではと思います。シビックプライドとは、特定の地域や都市に対する誇りを持ち、その地域をより良くするために自ら関与しようとする意識を表します。これは単なる地元愛や郷土愛とは異なり、地域の発展に積極的に貢献しようとする心意気が含まれています。子どもたちが地域のために、その地域に住む当事者として何ができるのかを考える学習は今後、より大きな役割を果たすと思います。